

深沢七郎生誕 110 年記念 深沢七郎文学記念館共催イベント

ならやまぶしこう

朗読『檜山節考』

日時

5 月 31 日 (金)

開場：13 時 開演：13 時 15 分

場所

久喜図書館 1 階視聴覚ホール

定員 140 名 (当日先着順) 入場無料

読み手

松井利江 氏

(憩・倶楽部)

演奏

森田 進 氏

(深沢七郎文学記念館)

『檜山節考』とは.....

「姥捨て」の民間伝承を題材にした深沢七郎の短編小説。著者が 42 歳の時の処女作で、第 1 回中央公論新人賞を受賞した。2 度の映画化の他、テレビドラマやラジオドラマも制作されている。

あらすじ

信州の山間のとある村では 70 歳になると「檜山まいり」をするのが習わしであった。翌年 70 歳になる「おりん」は檜山まいりの日を待ち望んでいるが、孝行息子の「辰平」は気が進まない。

「年が明けたらすぐに山に行く」と言っていたおりんは、正月を間近に控えた 12 月のある日、「明日檜山まいりに行く」と宣言するのだった。

映画会のお知らせ

入場無料！

引き続き、14 時から名作映画鑑賞会「PLAN75」を上映します。